

2013年12月19日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

**「第4」の太陽電池工場：東北での建設を決定**

～公称生産能力150MW、世界市場を見据えた最新量産技術を導入～

【東京—2013年12月19日】—ソーラーフロンティア株式会社（社長：玉井裕人、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、150MWの公称生産能力を持つCIS薄膜太陽電池工場「（仮称）東北工場」の建設を決定しました。同工場は、ソーラーフロンティアが宮崎県に有する3つの工場に続く4番目の生産拠点であり、宮城県大衡村に立地し、2015年3月までに稼働を開始する予定です。

今回建設される東北工場に導入される最新の量産技術は、従来よりも高性能な製品をより効率的に生産することを可能にします。その結果、変換効率を向上させた高性能CIS薄膜太陽電池モジュールを、世界トップクラスのコストで実現できます。ソーラーフロンティアは2010年に現在のブランドに統一して以降、これまで順調に成長を遂げており、開発、生産、販売のいずれにおいても、成果を出してきました。このような結果として、2013年は通期で黒字化を達成できる見込みです。東北工場は、ソーラーフロンティアが今後グローバルプレーヤーとしての地位を確立する技術的な礎になります。さらには海外への販売拡大を視野に、海外生産拠点を展開するためのモデル工場としての役割も担っていきます。

投資額は約130億円を予定しています。なお、本案件は経済産業省によって「平成23年度国内立地推進事業補助金」の対象として採択されており、宮城県からの「みやぎ企業立地奨励金」や大衡村の「企業立地推進奨励金」にも応募する予定です。

ソーラーフロンティアは、新工場建設によって、地元の関連企業と協働し、雇用を創出することで、東北経済の活性化に寄与してまいります。今後とも、環境に優しく、永続性の高いCIS薄膜太陽電池技術を通して、クリーンな再生可能エネルギーを国際社会に提供し続けます。

以上

**【概要】**

工場用地	宮城県黒川郡大衡村 第二仙台北部中核工業団地
広さ	敷地面積 70,000m <sup>2</sup> 建屋延床面積 15,000m <sup>2</sup>
生産規模	150MW/年
生産開始	2015年3月までに稼働開始予定
従業員	およそ100名を予定
投資金額	約130億円

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 広報部 中島、吉田

TEL: 03-5531-5792

## 【ソーラーフロンティア東北工場 全体図】



### 【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvM 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:  
ソーラーフロンティア株式会社 広報部  
中島、吉田 TEL: 03-5531-5792